



JICA海外協力隊

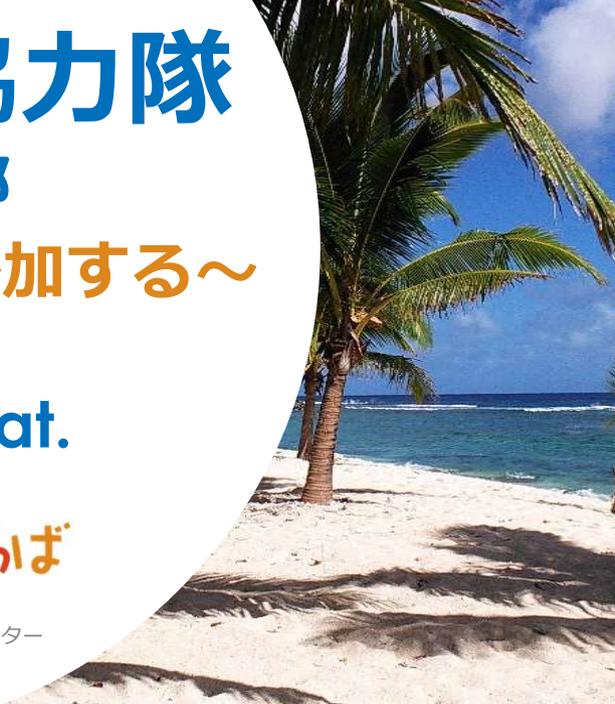
フェア in 中部

～知る・応援する・参加する～

日時 2020.2.1 Sat.

場所 JICA中部
なごや+地球ひろば

主催
独立行政法人 国際協力機構 中部センター
(JICA中部)



タイムテーブル

	A-1,2,3	B-1,2	B-3,4
13:30	<p>ドミニカ共和国/環境教育 浅井 梢 (岐阜)</p> <p>ケニア/環境教育 石黒 雄資 (静岡)</p> <p>キルギス/環境教育 広中 歩 (三重)</p>	<p>ラオス/コンピュータ技術 鈴木 洋平 (静岡)</p> <p>ケニア /PCインストラクター 鈴木 智久 (三重)</p> <p>南アフリカ共和国 /PCインストラクター 福井 崇博 (静岡)</p>	<p>パラグアイ/看護師 磯貝 恵里 (愛知)</p> <p>ミクロネシア/病院運営管理 吉田 貴康 (愛知)</p> <p>ブータン/行政サービス 濱崎 浩之 (岐阜)</p>
14:30		休憩	
14:45	<p>カンボジア /コミュニティ開発 岩淵 有芳 (岐阜)</p> <p>ルワンダ/コミュニティ開発 中山 翔太 (岐阜)</p> <p>タンザニア /コミュニティ開発 加藤 伶奈 (静岡)</p>	<p>マラウイ/青少年活動 大竹 幸乃 (静岡)</p> <p>セネガル/小学校教育 野田 雄一郎 (愛知)</p> <p>エクアドル/青少年活動 由井 水帆子 (愛知)</p>	<p>タンザニア/柔道 八木 正爾 (三重)</p> <p>セネガル /障害児・者支援 市野 清 (静岡)</p> <p>ガボン/言語聴覚士 小林 邦子 (三重)</p>
15:45		休憩	
16:00		<p>エスワティニ /PCインストラクター 小林 優太 (静岡)</p> <p>ウルグアイ/観光 水野 映子 (愛知)</p> <p>トンガ/気象 鈴木 潤 (愛知)</p>	<p>ガボン/養殖 山田 元一 (愛知)</p> <p>ソロモン/野菜栽培 太田 和子 (愛知)</p> <p>エクアドル/高齢者介護 河合 隼也 (愛知)</p>
17:00			

タイムテーブル

C-1

C-2

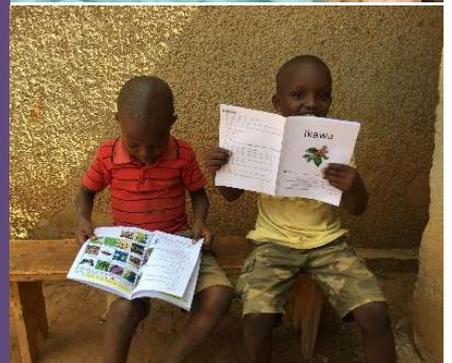
13:30

報告者控室

報告者の発表後、
質問時間が
足りなければ
控室にも
お訪ねください

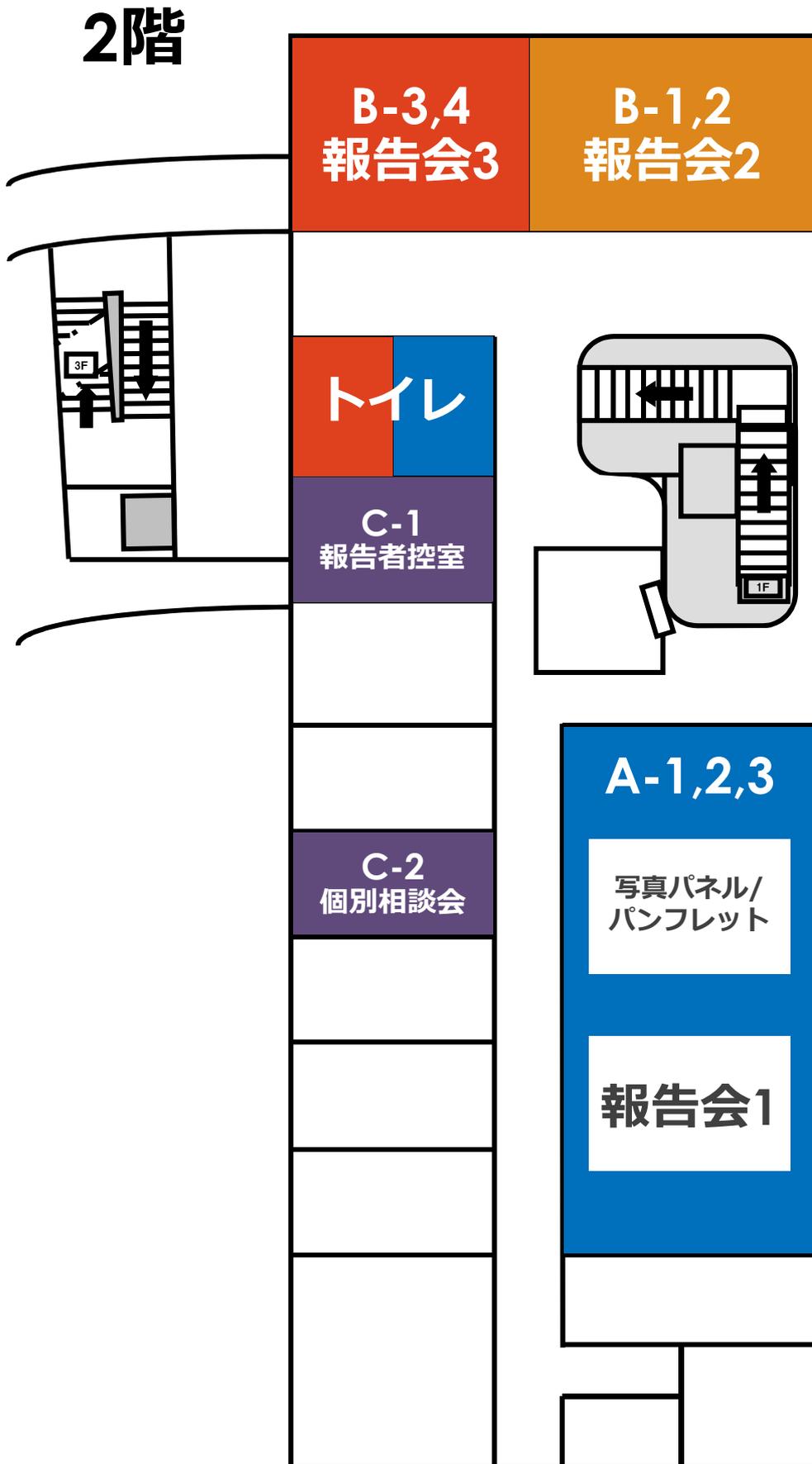
JICA海外協力隊
応募個別相談

随時受付



17:00

会場図





MEMO



浅井 梢 ASAI Kozue

ドミニカ共和国/環境教育



立ち上げ中のエコツアーに
環境コース参加者たちと

活動内容

現地域住民の環境意識向上のため、コミュニティや学校でのワークショップや、自治体と住民による環境取り組み活発化のためのプロジェクト立ち上げ。
地域の環境資源を活かしたエコツアーの開発にも関わりました。

現地で一番面白かったこと

人との出会いによって、当初予定していた活動とは違う形になったり、活動の幅が広がっていったこと。

石黒 雄資 ISHIGURO Yusuke

ケニア/環境教育



環境教育の出前講座（ごみ分別）

活動内容

首都近郊の街・ティカにおいて、行政の廃棄物管理部署に所属し、ごみ分別をテーマとする学校への出前講座やその仕組みづくり、ごみ収集への同行・助言による廃棄物収集能力の向上に取り組んだ。

現地で一番面白かったこと

仕事の合間の同僚との話の中で、現地の暮らしや考え方、歴史や伝統について理解を深められたこと。

広中 歩 HIRONAKA Ayumu

キルギス/環境教育



隊員だからこそ見れた現地の人々と景色。

活動内容

ビシュケク市内（キルギスの首都）の教育施設を対象とした巡回講義の実施、環境教育をテーマにしたワークショップ・イベントの実施、環境教育者の育成を目的としたセミナーの実施、環境教育者を対象にした教材の作成など

現地で一番嬉しかったこと

環境教育の効果ははっきりと目に見えるものは少ないですが、教育を続けていくことで生徒たちの環境に対する意識が少しずつでも変わっていくのが、生活態度から伝わってきたこと。

岩淵 有芳 IWABUCHI Ariyoshi

カンボジア/コミュニティ開発



カンボジア国観光省にてICTワークショップを開催

活動内容

カンボジア国観光省計画開発局にて、観光省職員に対する業務指導、人材育成のためのワークショップ運営等、様々なソリューションを通じた見地から、観光地のインバウンドマーケティング戦略、ガイドサービス、ツアーインフラ改善について提案・助言などを行う。

現地で一番感動したこと

2年間の活動を終えて帰国する最終日に、沢山の同僚や友人が空港まで見送りに来てくれました。本当にカンボジアで活動出来て良かったと思える瞬間でした。

中山 翔太 NAKAYAMA Shota

ルワンダ/コミュニティ開発



コーヒー豆を選別する様子

活動内容

コーヒー農家に対して、コーヒーの木の栽培技術をまとめたハンドブックを配布しました。また、それを利用して、剪定方法やコーヒーの抽出方法の勉強会を行いました。

現地で一番嬉しかったこと

農家の方が、勉強会で学んだことを実際にコーヒー農園で行っている様子を見たときは、嬉しかったです。

加藤 伶奈 KATO Reina

タンザニア/コミュニティ開発



任地から見えるキリマンジャロ

活動内容

行政の仕事改善（村開発計画の作成）
本に触れる環境づくり（図書館の利用推進、学校でクラブ活動の設立等）
収入向上支援（ヘアゴムの販売）
住民グループ活動支援

現地で一番嬉しかったこと

住民から現地語の名前で呼んでもらえるようになったこと。

鈴木 洋平 SUZUKI Yohei

ラオス/コンピュータ技術



活動先で導入したデータベースの操作方法をスタッフへ教えている様子

活動内容

ビエンチャンのラオス日本人材開発センターにおいて、システム基盤の整備、データベースを活用した情報の利活用、IT人材育成について活動してきました。ワークショップの帯同・開催やマニュアルをビデオ教材で作成する等、定着に向けた工夫をしてきました。

現地で一番感動したこと

スタッフ間の距離が近く、一緒におやつを食べたりビールを飲んだりする機会が頻繁にあること。

鈴木 智久 SUZUKI Tomohisa

ケニア/PCインストラクター



活動内容

ケニア内務・政府調整省、保護観察局がもつ2つの職業訓練校で行われるPC基礎コースの授業内容を世界的標準の内容に置き換えた。

現地で一番嬉しかったこと

職場での最後の日に、局長自らの手でお土産をいただいた。

福井 崇博 FUKUI Takahiro

南アフリカ共和国/PCインストラクター



ICTトレーニングに参加した生徒達と

活動内容

女性を支援するNPO団体で活動。農村地域に暮らす若者(主に女性)を対象に就職支援の為にICTトレーニングを実施。

現地で一番感動したこと

ICTトレーニングに参加した生徒はみな一生懸命でした。60%の生徒が失業していましたが、コンピュータのスキルを身に付けて就職に繋がりたいという思いがひしひしと伝わってきました。

大竹 幸乃 OHTAKE Yukino

マラウイ/青少年活動



大グラウンドで体育！全部で何人？！

活動内容

自転車で小学校を巡回し表現芸術教科の指導にあたっていた。
また放課後や休暇中の日本文化クラブや、運動会の開催、テレビ電話を利用した日本の小学校との交流等様々な異文化交流イベントを企画し行った。

現地で一番嬉しかったこと

任地の市場で出会った妊婦さん。私の名前の意味を現地語で教えてあげたら気に入ってもらえ、娘さんに私の名前を付けてくれました。最近姪が産まれたのですがマラウイにも姪ができました。

野田 雄一郎 NODA Yuichiro

セネガル/小学校教育



2年間共に勉強した子供達と

活動内容

- ・ 普段活動する小学校低学年の教員に対し、継続的に算数科の指導方法の改善。
- ・ 市内の中学校をセネガル人視学官と巡回し、理数科目の指導方法の改善。

現地で一番楽しかったこと

現地で本当の家族の様に接してくれる人に出会うことができ、その家族と過ごした毎日。

由井 水帆子 YUI Mihoko

エクアドル/青少年活動



入所している少年達と公園にお出かけしたときの1枚

活動内容

2017年10月から2019年10月までの2年間、エクアドルの首都キトにある、キト市慈善財団が運営する青少年薬物更生保護施設で、自らの意思で入所してくる薬物依存の少年達に対し、日々の生活指導の中で日記指導の導入を図ったほか、入所者家族向けのワークショップや施設内壁画制作などを通じて少年達の社会復帰支援に取り組んだ。

現地で一番嬉しかったこと

幼少期から薬物を使用し、犯罪を繰り返してきた少年が、施設出所時に、「もう絶対に薬物は使わない。自分と家族のために生きる。いつも僕を正してくれてありがとう。」と力強く話してくれたこと。

小林 優太 KOBAYASHI Yuta

エスワティニ/PCインストラクター



浴衣と民族衣装を着た生徒

活動内容

高校にてコンピューターの授業を受け持った。そのほか先生向けの講座・業務改善や陸上・駅伝大会の実施をした。またエスワティニ派遣の青年海外協力隊員は初めてであったが数少ない隊員とともにエスワティニ初の日本祭りを実施した。

現地で一番驚いたこと

教え子が国内のコンテストで3位入賞をしたこと。生徒自身が主体的に活動し、朝早くから夜遅くまで作業をしたことが結果につながりとてもうれしかった。

水野 映子 MIZUNO Eiko

ウルグアイ/観光



各県の観光局長等の会合で調査結果を報告

活動内容

アクセシブル・ツーリズム（障害の有無や年齢などかわからず誰もが楽しめる観光）を推進するため、観光地の問題点の抽出・改善提案や、観光に携わる人の意識向上・啓発を図った。

現地で一番面白かったこと

ウルグアイ全県の観光地を廻って視察調査を行いました。大変な時もありましたが、ウルグアイの観光地やそのアクセシビリティの状況を誰よりも知る日本人になれたと思っています。

鈴木 潤 SUZUKI Jun

トンガ/気象



トンガ気象局の職員たちと露場で撮影

活動内容

トンガの気象局で、トンガの気象予報の改善に向けて、気象予報解説の改善、最高気温最低気温予測精度の向上、トンガの気象特性解析などの活動を行った。

現地で一番面白かったこと

初めて南半球の気象（低緯度の気象特性、サイクロンなど）を体験できたこと。また、職員が行っている予報作業に参加して気象予報を発表できたこと。

磯貝 恵里 ISOGAI Eri

パラグアイ/看護師



院内デング熱予防530活動

活動内容

パラグアイとブラジルの国境に位置する日系移住地で福祉事業の基盤作りと活性化、日本語学校での衛生指導。現地無料病院で蚊を媒介とする感染症対策として看護学生と共に530活動（ごみゼロ活動）を行っていた。

現地で一番感動したこと

緑が壮大で、懐かしい田舎へ行った様な、どこまでも続く何も無い景色が飽きなかった。

吉田 貴康 YOSHIDA Takayasu

ミクロネシア/病院運営管理



IT room01

活動内容

ミクロネシア連邦、ポンペイ州立病院にて、院内情報管理のための電子カルテの開発、テスト、運用を現地ITチームと行った。

現地で一番楽しかったこと

ITチームみんなでプログラミング談議。

濱崎 浩之 HAMASAKI Hiroyuki

ブータン/行政サービス

2年間お世話になった
“労働人材省の同僚たち”

活動内容

王国政府労働人材省労働局アドバイザーとして派遣。主に“ブータン労働雇用法”の普及と啓発活動に注力。他の隊員と協働してアニメーションを制作、全国放映。小冊子を執筆・出版し、全国の就職を控える全生徒、全学生に配布、国内の学校図書館に配置。

現地で一番嬉しかったこと

職場の同僚だけでなく、国内各地で出逢ったブータン人の方々がとても親切で、困っていても、困っていなくても、いつも助けてもらったこと。

八木 正爾 YAGI Shoji

タンザニア/柔道



刑務所特殊部隊の柔道選手達です

活動内容

タンザニア内務省刑務所課スペシャルタスクフォース配属、特殊部隊隊員と警察官に柔道と関節技を中心とする護身術の技術を指導いたしました。2年目には一般道場で、一般の青少年にも柔道を広める活動を行いました。

現地で一番嬉しかったこと

シニアなので技術と体力が通用するかが心配でしたが、若い刑務官たちは、真剣に練習に励んでくれて、礼儀正しく、常に「SENSEI」と呼び慕ってくれたことが一番嬉しかったことです。

市野 清 ICHINO Kiyoshi

セネガル/障害児・者支援



この教具、楽しいわ！欲しい！

活動内容

セネガルにて特別支援教育に従事する教員を対象に、教具作りの実技研修を行った

現地で一番嬉しかったこと

現地の国際ボランティアデーにて教具を一般客に紹介していると、多くの人々にそれを売ってくれとせがまれたこと。

小林 邦子 KOBAYASHI Kuniko

ガボン/言語聴覚士



生徒への言語発達支援場面の一コマ

活動内容

国立ろう学校で生徒らへの言語発達支援を実施した他、教員や保護者に対して聴覚障害に対する理解向上のための啓発活動を行った。

現地で一番嬉しかったこと

活動最終日に「今日で最後、週明けに帰国する」と生徒らに伝えると、残念がってくれたこと。

山田 元一 YAMADA Motoichi

ガボン/養殖



手作り網の試作テスト風景

活動内容

「草の根無償資金協力（平成22年度）」で建設されたランバレネ養殖ステーションの孵化場施設の活用を図り、より稼働させるべく、養殖魚の親魚育成・種苗生産等を指導した。（対象魚種はティラピア、ナマズなど）

現地で一番嬉しかったこと

ティラピアの種苗生産が順調

- ①任期中に目標とした1万尾のティラピア種苗生産が出来たこと
- ②網生簀養殖用のペットボトル筏を製作したこと
- ③エサをよく食べ順調に成長する姿が観察できたこと
- ④帰任直前に約300gに育ったティラピアを近隣住民にテスト販売が出来たこと

太田 和子 OTA Kazuko

ソロモン/野菜栽培



世界食糧デーのイベントで派遣先の同僚と

活動内容

有機農業を普及するNGOに派遣され、ピーマンの害虫の防除やトマトの品種改良などに取り組んだ。また、同僚が地方の農家に有機農業技術の普及を行う手伝いをした。

現地で一番楽しかったこと

派遣先の同僚に日本の料理を作って食べてもらったり、反対に同僚たちにソロモンの料理をご馳走になったりしたこと。

河合 隼也 KAAI Toshiya

エクアドル/高齢者介護



活動内容

社会サービス公社の高齢者課に配属され、担当地域内の1200人を対象に健康指導や介護予防の普及並びに職員への介護技術の移転を行った。

現地で一番感動したこと

躊躇無く、他人に手を差し伸べられる国民性。決して自身が裕福でなくても、困っている人を助けていた場面に心の豊かさを感じました。



本日はJICA海外協力隊フェアに足を運んでいただきありがとうございました。
2年間の協力隊生活を終えた隊員は、みなさまの目にどう映ったでしょうか。





たったひとりの隊員の想いで変わるかもしれない世界。



いつか世界を変える力になる。

JICA海外協力隊

20歳～69歳

2020年春募集プレエントリー受付中

募集期間 2/20(木)～3/30(月)

説明会

なごや地球ひろば(名古屋市)

募集説明会/個別相談会

2月24日(月・祝) 10時,13時,16時

会場 :JICA中部 2階 なごや地球ひろば
(名古屋市中村区平池町4-60-7)

問合せ:JICA中部

Tel:052-533-0220 (代表)

Tel:052-533-0120 (連携推進課)

じゅうろくプラザ(岐阜市)

募集説明会/個別相談会

3月20日(金・祝)11時,14時30分

会場 :じゅうろくプラザ5階
(岐阜市文化産業交流センター)

問合せ:JICA岐阜県デスク

Tel:058-263-8069